

部会名：		事務局会議				
部会長（氏名・所属先）			副部会長（氏名・所属先）			
構成機関	相談支援従事者	1	就労支援センター		発達障害者支援センター	
	障害福祉サービス事業者	3	医療機関		教育関係機関	
	民間企業		高齢者介護の関係機関		当事者・当事者団体	
	当事者の家族		権利擁護関係団体・者		大学等	
	公共職業安定所		保健所・保健センター		保育所	
	児童相談所		身体障害者相談員		知的障害者相談員	
	民生・児童委員		地域住民代表		区福祉保健センター	2
	基幹相談支援センター	1	生活支援センター	1	地域ケアプラザ	
	社会福祉協議会	1	その他		合計	9
年間目標	①区と各部会と連携を強化し全体会の参加者を80名以上とする。 ②各現場での事例の報告会を実施することにより、区内福祉関係者のつながりとその連続性を高め、区の障害児・者の地域生活の充実と福祉の発展を目指す。 ③区において「障害者権利条約をどのように実現するか」の視点をもって地域づくりを行い、区内事業所一斉アクションを継続する。 ④各部会や担当者会議で出された意見や課題を整理し、担当者会議や全体会で提案する機能を強化する。					
月	活動内容					会議開催日時
4月	R7年度事務局会議体制・方針確認、R6報告・R7計画調整、5/15全体会の内容・構成確認、6/3担当者会議の内容確認、区制100周年(WG)、R6収支報告・R7予算、各部会・3機関報告、（子どもの権利条約批准日1994年4月22日）					4月18日
5月	5/15全体会の振り返り、6/3担当者会議の構成確認、区制100周年、各部会・3機関報告					5月16日
6月	6/3担当者会議の振り返り、区制100周年、各部会・3機関報告					6月20日
7月	10/7全体会の内容検討、区制100周年、各部会・3機関報告、拠点整備、区民祭りの参加検討、R7一斉アクション計画					7月18日
8月	10/7全体会の構成検討、区制100周年、各部会・3機関報告、一斉アクションの協同計画、区民祭り内容検討、拠点加算届出事業所のヒアリング検討					8月21日
9月	10/7全体会の構成（中間活動・収支報告）確認、11/10担当者会議の内容確認、各部会・3機関報告、一斉アクション協同計画・区民祭り内容調整					9月19日
10月	第5期ほっとなまづくりコラムの内容変更、10/7全体会の振り返り、11/10担当者会議の構成確認、各部会・3機関報告、一斉アクション（ヤドカリレジデンスとの協同）計画、10/25区民祭りの内容確認					10月17日
11月	11/10担当者会議の振り返り、12/10 3機関・自立協拡大会議（拠点整備計画案策定）、予算執行状況、各部会・3機関報告、区制100周年・一斉アクション進捗確認、1/29区MSW対象の第1回強度行動障害連絡会開催					11月21日
12月	12/10 3機関・自立協拡大会議（拠点整備計画案策定）振り返り、各部会・3機関報告、年度事業報告・次年度事業計画（案）、一斉アクション ヤドレジ・自立協共催企画）、区制100周年、当年度収支報告					12月19日
1月	3/3担当者会議の内容確認、各部会・3機関報告、年度事業報告・次年度事業計画進め方の確認、次年度事務局会議体制、権利条約区内一斉アクション（批准日2014年1月20日）					1月16日
2月	3/3担当者会議の構成確認、当年度振り返りと次年度活動計画・予算案・組織検討、各部会・3機関報告					2月20日
3月	3/3担当者会議の振り返り、当年度振り返りと次年度活動計画・予算案・組織確認、各部会・3機関報告、次年度全体会の内容検討					3月13日
連携・協働による課題解決の仕組み	部会でできたこと・やったこと 全体会(5月、10月)、担当者会議(6月、11月、3月)と事務局会議が連動し、区の障害福祉の連携（ネットワーク）と地域づくりを行った。 障害者権利条約区内一斉アクション（2年目）を実施。 区制100周年のワーキンググループで取組の検討。 運営上の課題 重要：自立支援協議会の活動とほっとなまづくり（保土ヶ谷区地域福祉保健計画）との連動 課題：区民（身近な他分野の福祉関係者を入口として）に活動内容を継続的に伝えること。					
シェアしたい取組 障害者権利条約区内一斉アクション 区制100周年	市域で共有・検討したい課題 必要：拠点整備計画の策定において、面的整備を進めるうえで、市の課題提示及び積極的な関与、施策デザイン、拠点整備コーディネーターの業務の配置及び整備を求めたい。 検討：・区域では難しいことを、複数区・エリアで取り組むための、関係作り。 ・障害児者の地域生活を支えるガイドヘルパーの拡充。 ・ドライバー不足を補う送迎車乗り合い制度の確立。 ・市域での緊急時ショートステイ輪番制と、その際の人員配置の柔軟な取り扱いの検討。 ・協議会参画は事実上各事業者の善意頼み。それでは「地域の障害福祉の連動と、制度間の協力体制の構築（面的整備）」の見通しが立たず、また不公平があるため、協議会参画事業者への補助金、市単加算の要望。					

部会名：		事務局会議					
部会長（氏名・所属先）：		石田朗大（夢21上星川）			副部会長（氏名・所属先）：		
小堀、井上、佐藤（保土ヶ谷区役所高齢・障害支援課）、増元（保土ヶ谷区役所子ども家庭支援課）、村瀬（区社協）、 その他事務局員（氏名・所属）：戸村（恵和）、島田・早坂（希望の家）、平良（保土ヶ谷区生活支援センター）、遠藤（保土ヶ谷区基幹）、田中（わおん相談室）							
問合せ先	氏名：	石田朗大			電話：	045-442-3121	
	所属先：	夢21福祉会			メール：	ishida-a@yume21.net	
構成機関	相談支援従事者	1	就労支援センター		発達障害者支援センター		
	障害福祉サービス事業者	3	医療機関		教育関係機関		
	民間企業		高齢者介護の関係機関		当事者・当事者団体		
	当事者の家族		権利擁護関係団体・者		大学等		
	公共職業安定所		保健所・保健センター		保育所		
	児童相談所		身体障害者相談員		知的障害者相談員		
	民生・児童委員		地域住民代表		区福祉保健センター	2	
	基幹相談支援センター	1	生活支援センター	1	地域ケアプラザ		
	社会福祉協議会	1	その他		合計		9
実施概要	区協議会の進行状況や課題について整理し、進行管理を行う。事務局構成員が担当する各専門部会等で協議されている内容を把握し、全体会における全体への周知の検討や、担当部会会議における協議内容の事前整理などを行う。						
年間目標	①区と各部会と連携を強化し全体会の参加者を80名以上とする。②各現場での事例の報告会を実施することにより、区内福祉関係者のつながりとその連続性を高め、区の障害児・者の地域生活の充実と福祉の発展を目指す。③区において「障害者権利条約をどのように実現するか」の視点をもって地域づくりを行い、区内事業所一斉アクションを継続する。④各部会や担当部会会議で出された意見や課題を整理し、事務局会議が担当部会会議や全体会で提案することを継続する。						
月	活動内容						会議開催日時
4月	R8年度事務局会議体制・予定・方針確認、5/13全体会の内容・構成確認、6/4担当部会会議の内容確認、区制100周年、予算、各部会・3機関報告、（子どもの権利条約批准日1994年4月22日）						4月17日
5月	5/13全体会の振り返り、6/4担当部会会議の構成確認、各部会・3機関報告						5月15日
6月	6/4担当部会会議の振り返り、区制100周年、各部会・3機関報告（拠点整備、）						6月19日
7月	区民祭りの参加及び内容検討、予算確認、各部会・3機関報告、拠点整備、区制100周年、一斉アクション						7月17日
8月	区民祭りの参加及び内容検討、10/6全体会の構成検討、各部会・3機関報告、組織・運営の点検						8月21日
9月	10/6全体会の構成確認、11/11担当部会会議の内容確認、中間部会活動・収支報告、各部会・3機関報告						9月18日
10月	11/11担当部会会議の構成確認、10/6代表者会議の振り返り、各部会・3機関報告						10月16日
11月	11/11担当部会会議の振り返り、予算執行状況、各部会・3機関報告、拠点整備計画案、区制100周年、一斉アクション						11月20日
12月	予算執行状況、12/9 3機関会議調整（拠点整備計画案）、一斉アクション、次年度事業計画・組織						12月18日
1月	3/●担当部会会議の内容確認、各部会・3機関報告、次年度事業計画課題整理、障害者権利条約区内一斉アクション（批准日2014年1月20日）、次年度拠点整備計画案確認						1月15日
2月	3/●担当部会会議の構成確認、当年度振り返りと次年度活動計画・予算案・組織検討、各部会・3機関報告、組織・運営の点検						2月19日
3月	3/●担当部会会議の振り返り、当年度振り返りと次年度活動計画・予算案・組織確認、各部会・3機関報告、次年度5/●全体会の内容検討						3月23日
必要予定の予算とその内容 障害者権利条約区内一斉アクションの啓発費（¥20,000）、区民祭り参加する際の経費（¥20,000）、ホームページ維持費（¥154,000）							
その他自由記載（部会活動を通して、区の障害福祉についてや区自立支援協議会について、より「こうなったらいいな」「これができたらいいな」などと共有できた課題についてもお記入をお願いします。） 全体会（5月、10月）、担当部会会議（6月、11月、3月）と事務局会議が連動し、区の障害福祉の連携（ネットワーク）と地域づくりを行う。 重要：自立支援協議会とほとなまちづくり（保土ヶ谷区地域福祉保健計画）との連動の模索 必要：全体会、担当部会会議で、協議会内だけではなく、区と区民の福祉の状況を、各事業所と共有を行う。地域生活支援拠点登録事業所との協議し、拠点の課題解決に向けて取り組む。日中支援型グループホームの状況報告の確認。 課題：区制100周年のワーキンググループの活動の推進。							

部会名：全体会・担当者会						
部会長（氏名・所属先）石田（社会福祉法人 夢21福祉会）			副部会長（氏名・所属先）			
構成機関	相談支援従事者	27	就労支援センター	2	発達障害者支援センター	1
	障害福祉サービス事業者	88	医療機関	6	教育関係機関	7
	民間企業	0	高齢者介護の関係機関	0	当事者・当事者団体	3
	当事者の家族	4	権利擁護関係団体・者	1	大学等	0
	公共職業安定所	0	保健所・保健センター	0	保育所	0
	児童相談所	1	身体障害者相談員	0	知的障害者相談員	0
	民生・児童委員	0	地域住民代表	0	区福祉保健センター	2
	基幹相談支援センター	1	生活支援センター	1	地域ケアプラザ	8
	社会福祉協議会	1	その他	3	合計	156
年間目標	各現場での日頃の実践（支援や地域交流等）の好事例を共有し、その実践を区域に拡げて地域に共に助け合える人を増やしていくことで、障害のある方も暮らしやすい保土ヶ谷区の実現を目指す。そのためにも各部会の年間目標、拠点整備計画やにも包括が地域福祉保健計画と連動すべく一歩一歩を着実に、具体的に実現させていく。					
月	活動内容					会議開催日時
4月						
5月	（第1回全体会）/場所：保土ヶ谷公会堂 1号会議室 自支協の目標や全体像等の再周知。各部会の前年度報告と今年度計画、拠点整備計画、区制100周年イベント等の共有。					5/15（木） 14:00-16:30
6月	（第1回担当者会）/場所：保土ヶ谷区役所地下会議 各部会活動、拠点事業所について現状や展望、気づきや課題の共有等。					6/3（火） 14:00-16:30
7月						
8月						
9月						
10月	（第2回全体会）/場所：保土ヶ谷公会堂 1号会議室 各部会中間報告。地域との連携、身近（各現場実践や部会活動等）から気づく課題等の共有					10/7（火） 14:00-16:30
11月	（第2回担当者会）/場所：保土ヶ谷区役所地下会議室 第2回全体会結果の共有とあらためて各部会活動を通して気づけた地域で共通する課題の共有。「地域連携」に対する意見・具体的なアイデア出し。					11/10（月） 14:00-16:30
12月	区3機関定例カンファレンスとの協働。アイデア提案や協議、拠点整備計画の振り返り、次年度に向けて。					12/10（水） 9:30-11:30
1月						
2月						
3月	（第3回担当者会議）/場所：保土ヶ谷区役所地下会議室 地域生活支援拠点整備計画等の共有。各部会の今年度報告書と次年度計画書の共有。自立協HPについて。					3/3（月） 14:00-16:30
連携・協働による課題解決の仕組み	部会でできたこと・やったこと 自立支援協議会をPDCAサイクルで運営し、拠点整備計画とも連動する仕組みが定着。全体会や担当者会、各部会の事例検討等を通して、顔の見える関係と事業所間の相互理解が進んでいる。また担当者会と3機関定例カンファレンスとの協働機会では各部会だけではなく拠点事業所の参画により、各事業所の現状の課題や運営状況等についてお互いを知る機会となった。					
	運営上の課題 ・上記の連動の仕組みは定着しているが、自立協全体として区地域福祉保健計画との連動までは届いていない。また、各部会の事例検討だけでは課題抽出の仕組みが上手く機能しないということがわかった。そのため、メゾ・マクロレベルの視点での課題抽出や部会等に横ぐし刺す仕組みづくりが別途必要。 ・事業所の人材不足により、各部会の事務局を担う負担感が大きい。 ・部会の目的・実施概要については適宜振り返るとともに、現状に応じてブラッシュアップをしていく必要がある。					
シェアしたい取組 全体会・担当者会・各部会プラスα3機関定例CFでのPDCAサイクルによる拠点整備計画を反映させた部会運営と地域の体制づくり。		市域で共有・検討したい課題 区自立支援協議会は深刻な人材不足の影響を受け、特に事務局の担い手不足が顕在化している。参画することで「横の繋がりが増える」というメリットはあるものの、経営面では人手を割くことによる負担増という側面が大きくなっている。事業所にとっては、参画の有無が収入に反映されないため、現状のままでは協力体制の維持が困難となる懸念がある。横浜市として、自立協に主体的に参画・貢献する事業所に対し、何らかの加算設定や報酬上の評価、あるいは市独自の支援策など、その貢献を正当に評価し「違い」を作る仕組みを検討できないか。				

【様式第1号】

保土ヶ谷区障害者地域自立支援協議会

令和8年度 部会年間計画書

部会名：		全体会・担当者会				
部会長（氏名・所属先）：		石田（社会福祉法人 夢21福祉会）		副部会長（氏名・所属先）		
その他事務局員（氏名・所属）：		小堀（保土ヶ谷区役所高齢・障害支援課）、増元（保土ヶ谷区役所こども家庭支援課）、村瀬（保土ヶ谷区社協） 戸村（恵和）、島田・早坂（ほどがや希望の家）、平良（生活支援センター）、田中（わおん相談支援事業所）、 遠藤（保土ヶ谷区基幹）				
問合せ先	氏名：	遠藤 菜穂		電話：	045-333-8611	
	所属先：	保土ヶ谷区基幹相談支援センター		メール：	hodogaya-kikan@hodogayayume.onmicrosoft.com	
構成機関	相談支援従事者	27	就労支援センター	2	発達障害者支援センター	1
	障害福祉サービス事業者	88	医療機関	6	教育関係機関	7
	民間企業	0	高齢者介護の関係機関	0	当事者・当事者団体	3
	当事者の家族	4	権利擁護関係団体・者	1	大学等	0
	公共職業安定所	0	保健所・保健センター	0	保育所	0
	児童相談所	1	身体障害者相談員	0	知的障害者相談員	0
	民生・児童委員	0	地域住民代表	0	区福祉保健センター	2
	基幹相談支援センター	1	生活支援センター	1	地域ケアプラザ	8
	社会福祉協議会	1	その他	3	合計	156
実施概要	全体会（2回）、担当者会（3回）、3機関定例CCとの共催（1回）を以下の狙いで循環。 ①自支協の目的や全体像、その他共通する大事なテーマ等の周知・共有→②相互理解と身近（各現場実践や部会活動等）から気づく課題等の共有→③共有された課題に対する手だてのアイデア出し→④得られたアイデアの整理と地域生活支援拠点整備計画等への反映→⑤それも受け次年度各部会活動計画へ反映→⑥今年度活動報告と共に次年度の各目標や取り組み計画等を共有					
年間目標	令和7年度に築いたネットワークの下地を活かし、地域課題の抽出の仕組みを検討するとともに、各部会・拠点・にも包括が具体的に手を取り合い解決に踏み出す「実働の年」に向けた一年とする。 また、自立支援協議会の活動を、地域や他分野との重なりを意識した一歩を踏み出すことで、地福計画も意識した、区全体の地域福祉の向上に寄与する。					
月	活動内容					会議開催日時
4月						
5月	（第1回全体会）/場所：保土ヶ谷公会堂 1号会議室 自支協の目標や全体像等の再周知。各部会の前年度報告と今年度計画、拠点整備計画等の共有。（＋その他必要に応じ）					5/13（水） 14:00-16:30
6月	（第1回担当者会）/場所：保土ヶ谷公会堂 2号会議室 各部会活動について（現状や展望、気づきや課題、どうしていけるとよりよいか）意見交換、＋その他必要に応じ					6/4（木） 14:00-16:30
7月						
8月						
9月						
10月	（第2回全体会）/場所：保土ヶ谷公会堂 1号会議室 各部会中間報告。地域との連携、身近（各現場実践や部会活動等）から気づく課題等の共有					10/6（火） 14:00-16:30
11月	（第2回担当者会）/場所：保土ヶ谷区役所地下会議室 第2回全体会結果の共有とあらためて各部会活動を通して気づけた地域で共通する課題の共有。その上で手立てのアイデア出し。その他必要に応じ。					11/11（水） 14:00-16:30
12月	区3機関定例カンファレンスとの協働。アイデア提案や協議					12/9（水） 9:30-11:30
1月						
2月						
3月	（第3回担当者会議）/場所：保土ヶ谷公会堂2号会議室 地域生活支援拠点整備計画等の共有。各部会の今年度報告書と次年度計画書の共有。その他必要に応じ。					3/10（水） 14:00-16:30
必要予定の予算とその内容 自立支援協議会全体で32万円の予算計上。（うち、ホームページの委託更新費は15万円）						
その他自由記載（部会活動を通して、区の障害福祉についてや区自立支援協議会について、より「こうなったらいいな」「これができたらいいな」などと共有できた課題についてもご記入お願いします。） 地域づくりのためには、自立協以外の団体との共催・協働・協賛等を積極的に進め、他分野多職種との連携を気軽にできる関係性が区域で構築されることが望ましい。これが当たり前にできると、保土ヶ谷は誰もが住みやすいまちになる。						

保土ケ谷区障害者地域自立支援協議会

令和7年度 部会年間報告書

部会名： まちで暮らすネットワーク ～地域生活支援部会～						
部会長（氏名・所属先） 矢田（保土ケ谷区生活支援センター）			副部会長（氏名・所属先）： 佐野（恵和青年寮）			
構成機関	相談支援従事者	2	就労支援センター		発達障害者支援センター	
	障害福祉サービス事業者	21	医療機関	5	教育関係機関	1
	民間企業		高齢者介護の関係機関		当事者・当事者団体	
	当事者の家族	2	権利擁護関係団体・者		大学等	
	公共職業安定所		保健所・保健センター		保育所	
	児童相談所		身体障害者相談員		知的障害者相談員	
	民生・児童委員		地域住民代表		区福祉保健センター	3
	基幹相談支援センター	1	生活支援センター	1	地域ケアプラザ	
	社会福祉協議会		その他		合計	36
年間目標	①当部会では、生きづらさのある方を対象として、分野横断で「まちで暮らす」ことを考えていく。 ②強度行動障害は児童期から成人期に移行する課題であり、ワーキンググループを通じて、課題共有から手立ての検討を目指して活動する。 ③ 予防的な観点から教育機関や児童分野の支援者、こども部会等との連携を模索する					
月	活動内容					会議開催日時
4月						
5月	【#1】地域生活支援拠点の説明、事例検討①（強度行動障害のある知的障害者の地域移行） ＝会場・区役所202会議室					5月8日 13:30～15:30
6月	○ワーキング（テーマ：強度行動障害の支援を考える） 会場＝地活ゆめ・ボランティアルーム					6月12日 16:30～18:00
7月	【#2】グループホームスタッフ交流会 会場＝保土ケ谷区社協・多目的研修室 ○ワーキング（テーマ：強度行動障害の支援を考える） 会場：基幹相談【7月17日 17:00-18:30】					7月10日 13:30～15:30
8月	○ワーキング（テーマ：強度行動障害の支援を考える） 会場＝地活ゆめ・ボランティアルーム					8月14日 16:30～18:00
9月	【#3】事例検討②（知的障害/身体障害の重複児童ケース） 会場＝保土ケ谷区役所 202会議室 ○ワーキング（テーマ：強度行動障害の支援を考える） 会場：区202会議室【15:45-17:20】					9月11日 13:30～15:30
10月	○ワーキング（テーマ：強度行動障害の支援を考える） 会場＝地活ゆめ・ボランティアルーム					10月9日 16:30～18:00
11月	【#4】短期入所事業所、活動ホームとの情報交換会 会場＝保土ケ谷区役所 地下会議室					11月13日 13:30～15:30
12月	○ワーキング（テーマ：強度行動障害の支援を考える） 会場＝地活ゆめ・ボランティアルーム					12月11日 16:30～18:00
1月	【#5】 N・H・K連携事業（西区基幹・地活／保土ケ谷区基幹・地活／恵和青年寮）の実践報告、 グループワーク 会場＝保土ケ谷区役所501.502会議室					1月8日 13:30～15:30
2月	【#6】1年間の振り返り 会場＝保土ケ谷区役所202会議室 ○ワーキング（テーマ：強度行動障害の支援を考える） 会場：区202会議室【15:45-17:30】					2月12日 13:30～15:30
3月	○ワーキング（テーマ：強度行動障害の支援を考える） 会場＝保土ケ谷区役所202会議室					3月12日 15:45～17:30
連携・協働による課題解決の仕組み	部会でできたこと・やったこと ・R6年度から引き続き実施した、グループホーム交流会や短期入所/地活の意見交換会では、実践の共有だけでなく、お互いの実践を話し合う中で、今後の地域連携に向けてのヒントが多数得られた。 ・年間目標である「分野横断で、当事者がまちで暮らすこと」を考える機会を提供でき、地域課題の整理を進められた。 ・2つの事例検討（強度行動障害の方の地域移行、重複障害児童）を通じ、今後の多職種連携強化に向けて、素地を作れた。					
シェアしたい取組	市域で共有・検討したい課題 ・拠点整備において、例えば緊急時体制整備のために、入所施設との調整を部会単独で担うのは難しい。拠点整備の実働部隊は3機関（区・生活支援センター・基幹相談）が妥当であり、各区で3機関から拠点担当が集まり、「拠点整備ワーキング（仮）」を別途作り、整備を進めたらどうか。 ・地域生活支援部会としては、地域におけるネットワーク強化や地域課題の整理やアイデア出しを行なうのが現実的。拠点整備における3機関と自立協の役割分担や密な連携がカギと考える。市域で検討していただきたい。					

【様式第1号】

保土ヶ谷区障害者地域自立支援協議会

令和8年度 部会年間計画書

部会名： まちで暮らすネットワーク ～地域生活支援部会～						
部会長（氏名・所属先）： 佐野（恵和青年寮）			副部会長（氏名・所属先）： 大泉（十愛病院）			
その他事務局員（氏名・所属）： 矢田（生活支援センター）、石田（夢21）、島田（きてん）、宮本・芳垣（区高齢・障害支援課）、遠藤・田村（基幹相談）、田中（わおん）、細谷（地域生活支援センター）、瀬之口（たちほどがや）						
問合せ先	氏名：	佐野		電話：	045-353-0661	
	所属先：	社会福祉法人 恵和		メール：	t-sano@keiwa.net	
構成機関	相談支援従事者	1	就労支援センター		発達障害者支援センター	
	障害福祉サービス事業者	18	医療機関	2	教育関係機関	2
	民間企業		高齢者介護の関係機関		当事者・当事者団体	
	当事者の家族		権利擁護関係団体・者		大学等	
	公共職業安定所		保健所・保健センター		保育所	
	児童相談所		身体障害者相談員		知的障害者相談員	
	民生・児童委員		地域住民代表		区福祉保健センター	3
	基幹相談支援センター	1	生活支援センター	1	地域ケアプラザ	
	社会福祉協議会		その他		合計	28
実施概要	・事例検討をおこない、障害児者（障害種別問わず）の地域生活を支えるネットワーク形成に取り組む。・事例検討の実施では、多様な専門職が議論し合える受け皿を作る。・「まちくら交流会」や「短期入所施設の交流会」を通じ、情報交換や連携強化の機会を提供する。・NHK連携プロジェクトの報告等を通じ、拠点整備について考える機会を作る。					
年間目標	①当部会では、生きづらさのある方を対象として、分野横断で「まちで暮らす」を考えていく。 ②強度行動障害は、児童期から成人期に移行する課題。ワーキンググループで、課題共有から手立てまで検討する。 ③予防や人材育成の観点から、こども部会・相談支援部会・地域支えあい研修等との連携に取り組む。					
月	活動内容					会議開催日時
4月	○事務局/ワーキング（テーマ：強度行動障害の支援を考える） 会場＝ほどがや地域活動ホームゆめ					4月9日（木） 15:00～18:00
5月	【#1】事例検討①（こども部会 共催） 会場＝保土ヶ谷区役所・地下会議室					5月18日（月） 10:00～12:00
6月	○グループホーム見学交流会（受け入れ：夢21ホーム） ○事務局/ワーキング（テーマ：強度行動障害の支援を考える） 会場＝ほどがや地域活動ホームゆめ					6月11日（木） 15:00～18:00
7月	【#2】人材育成研修（まちくら部会/地域ささえあい研修 共催） 会場＝保土ヶ谷公会堂					7月15日（水） 18:00～20:00
8月	○事務局/ワーキング（テーマ：強度行動障害の支援を考える） 会場＝ほどがや地域活動ホームゆめ					8月13日（木） 15:00～18:00
9月	【#3】グループホーム意見交換会 テーマ＝「地域連携推進会議」について 会場＝保土ヶ谷区役所・401会議室					9月10日（木） 13:30～15:30
10月	○事務局/ワーキング（テーマ：強度行動障害の支援を考える） 会場＝ほどがや地域活動ホームゆめ					10月8日（木） 15:00～18:00
11月	【#4】事例検討②（相談支援部会 共催） 会場＝保土ヶ谷区役所・地下会議室					11月27日（金） 15:30～17:30
12月	○事務局/ワーキング（テーマ：強度行動障害の支援を考える） 会場＝ほどがや地域活動ホームゆめ					12月10日（木） 15:00～18:00
1月	【#5】短期入所事業所、活動ホームとの情報交換会（計画相談 オブザーバー参加） 会場＝保土ヶ谷区役所・401会議室					1月14日（木） 13:30～17:30
2月	【#6】1年間の振り返り 会場＝保土ヶ谷区役所 地下会議室 ※2月11日祝日のため、前倒し					2月10日（水） 13:30～15:30
3月	○事務局/ワーキング（テーマ：強度行動障害の支援を考える） 会場＝ほどがや地域活動ホームゆめ					3月11日（木） 15:00～18:00
必要予算の予算とその内容 ・グループホーム交流会（茶菓代5,000円）						
その他自由記載 令和8年度は、令和7年度に取り組みなかった自立支援協議会の他部会とのコラボレーションを通じ、ネットワークの強化をさらに図ると共に、地域の支援力強化につなげるため、法人の枠を超えて地域単位での人材育成に取り組むたい。						

部会名：		区精神net				
部会長（氏名・所属先）		葛西（銀河和田町）		副部会長（氏名・所属先）		
構成機関 (事業所・人数)	相談支援従事者	2(2)	就労支援センター	2(2)	発達障害者支援センター	
	障害福祉サービス事業者	15(17)	医療機関	4(4)	教育関係機関	
	民間企業		高齢者介護の関係機関		当事者・当事者団体	1(1)
	当事者の家族	1(3)	権利擁護関係団体・者		大学等	
	公共職業安定所		保健所・保健センター	2(2)	保育所	
	児童相談所		身体障害者相談員		知的障害者相談員	
	民生・児童委員		地域住民代表		区福祉保健センター	1(2)
	基幹相談支援センター	1(2)	生活支援センター	1(4)	地域ケアプラザ	2(2)
社会福祉協議会		1(1)	その他		合計	33(42)
年間目標						
「皆が主役！誰でも自分らしく暮らせるためにつながり支えあう区精神net！」というスローガンを掲げ、関係機関同士のつながりのさらなる強化、新たな普及啓発イベントの企画・実施。また部会活動を通じた区体制整備に関連する気づきや解決アイデア等を協議会全体にも発信する。						
月	活動内容					会議開催日時
4月	精神netコア会議（毎月第4水曜日）：全体の進捗共有や検討事項 全体会（毎月第2火曜）：情報共有・自己紹介、GW「今年度のイベントについて」 ほほほの会（毎月第3火曜日）：会の目的の共有と年間予定打ち合わせ アウトリーチ支援チーム員会議（毎月第3水曜日）：支援ケース共有・検討					4月9日（火） 15:45～ 17:30
5月	精神netコア会議（毎月第4水曜日）：全体の進捗共有や検討事項 全体会（毎月第2火曜）：情報共有・自己紹介、事例検討「GHより意思決定支援に関連するケース」 ほほほの会（毎月第3火曜日）：院内アンケートの内容について協議 アウトリーチ支援チーム員会議（毎月第3水曜日）：支援ケース共有・検討					5月14日（火） 15:45～ 17:30
6月	精神netコア会議（毎月第4水曜日）：全体の進捗共有や検討事項 全体会（毎月第2火曜）：情報共有・自己紹介、GW「わいわいフェスタ&区民祭りについて」 ほほほの会（毎月第3火曜日）：アンケート進捗共有、回収後の予定確認。出張講座について。 アウトリーチ支援チーム員会議（毎月第3水曜日）：支援ケース共有・検討					6月11日（火） 15:45～ 17:30
7月	精神netコア会議（毎月第4水曜日）：全体の進捗共有や検討事項 全体会（毎月第2火曜）：情報共有・自己紹介、GW：「成功事例を通して、支援上の喜びや達成感などを話し合う」 ほほほの会（毎月第3火曜日）：アンケート結果共有、長期的に行いたい取り組みについて意見交換 アウトリーチ支援チーム員会議（毎月第3水曜日）：支援ケース共有・検討					7月9日（火） 15:45～ 17:30
8月	精神netコア会議（毎月第4水曜日）：全体の進捗共有や検討事項 全体会（毎月第2火曜）：情報共有・自己紹介、事例検討「就労B型より利用者への支援ケース」 ほほほの会（毎月第3火曜日）：アンケート結果踏まえた今後の取り組みについて協議 アウトリーチ支援チーム員会議（毎月第3水曜日）：支援ケース共有・検討					8月13日（火） 15:45～ 17:30
9月	精神netコア会議（毎月第4水曜日）：全体の進捗共有や検討事項 全体会（毎月第2火曜）：情報共有・自己紹介、生活支援課より「生活困窮者自立支援事業」について説明・質疑応答 ほほほの会（毎月第3火曜日）：普及啓発動画作成について協議、出張講座振り返り アウトリーチ支援チーム員会議（毎月第3水曜日）：支援ケース共有・検討					9月10日（火） 15:45～ 17:30
10月	精神netコア会議（毎月第4水曜日）：全体の進捗共有や検討事項 全体会（毎月第2火曜）：情報共有・自己紹介、ワーク：「日々対応し葛藤を感じるなどについての意見集約」 ほほほの会（毎月第3火曜日）：院内OTとの協働プログラムについて意見交換、普及啓発動画作成の進捗共有 アウトリーチ支援チーム員会議（毎月第3水曜日）：支援ケース共有・検討					10月8日（火） 15:45～ 17:30
11月	精神netコア会議（毎月第4水曜日）：全体の進捗共有や検討事項 全体会（毎月第2火曜）：わいわいフェスティバルに参加 ほほほの会（毎月第3火曜日）：院内OTとの協働プログラムについて意見交換、普及啓発動画作成の進捗共有 アウトリーチ支援チーム員会議（毎月第3水曜日）：支援ケース共有・検討					11月10日（日） 10:00～14:00
12月	精神netコア会議（毎月第4水曜日）：全体の進捗共有や検討事項 全体会（毎月第2火曜）：10月アンケート結果（AI集約）を読んだ感想や「自分はこうしたい！」の意見交換 ほほほの会（毎月第3火曜日）：院内OTとの協働プログラムについて意見交換、普及啓発動画作成の進捗共有 アウトリーチ支援チーム員会議（毎月第3水曜日）：支援ケース共有・検討					12月10日（火） 15:45～ 17:30
1月	精神netコア会議（毎月第4水曜日）：全体の進捗共有や検討事項 全体会（毎月第2火曜）：次年度計画の共有、12月意見交換の結果（AI要約・推論）より出たテーマについて意見交換 ほほほの会（毎月第3火曜日）：普及啓発、次年度の予定について アウトリーチ支援チーム員会議（毎月第3水曜日）：支援ケース共有・検討					2025年1月14日（火） 15:45～ 17:30
2月	精神netコア会議（毎月第4水曜日）：全体の進捗共有や検討事項 全体会（毎月第2火曜）：区精神ネット全体の年間報告と次年度、にも包括シートの共有。 ほほほの会（毎月第3火曜日）：事例検討、次年度の予定について アウトリーチ支援チーム員会議（毎月第3水曜日）：支援ケース共有・検討					2025年2月10日（月） 15:45～ 17:30
3月	精神netコア会議（毎月第4水曜日）：全体の進捗共有や検討事項 全体会（毎月第2火曜）：総括と次年度の予定について ほほほの会（毎月第3火曜日）：次年度の予定について アウトリーチ支援チーム員会議（毎月第3水曜日）：支援ケース共有・次年度からの展開について					2025年3月11日（火） 15:45～ 17:30
連携・協働による課題解決の仕組み	部会でできたこと・やったこと ★事例やテーマについての協議の仕方を多様化する（AI活用も試行）→出された意見からつながった意見交換等を展開 ★「支援者の元気」をテーマに「成功事例から達成感や喜びを分かち合う」会を実施 ★わいわいフェスティバルを今年度も協力して実施 ★ケアプラザ2カ所との共催研修・よろず相談会の実施 ★各事業所からのケースを用いて事例検討 ★ほほほの会における医療機関へのアンケート実施→協働活動充実や普及啓発動画の作成 ★アウトリーチ支援チーム員で「ガイドライン」作成、他区への周知等を実施					
	運営上の課題 ★全体会とその他2つの分科会との連動性は継続課題 ★部会長、副部会長などコアメンバーとしての役割を担っていただける人員の確保 ★ミクロ（個別や事業）の視点からメゾ（地域・地区）の視点への展開（より地域課題の抽出へつなげる意識と仕組み）					
シェアしたい取組 上記の部会でできたこと・やったことから、 ・AI活用はとても便利で可能性がより広がる印象 ・「支援者が元気になる」機会はとても貴重で大事なテーマ ・地域移行推進やアウトリーチ充実は精神領域に限らず大切なテーマとして拡充していきたい。			市域で共有・検討したい課題 ・メンタルヘルスをキーワードに、包括的に多様な重層的連携の在り様が学べる機会を市3機関会議などで取り扱って欲しい（具体的な取組例など） ・社協（地福計画等）やケアプラザ等の一般区民や他領域との連携・協働推進については、障害分野の現場からのみならずその必要性等、市や区からのメッセージや働きかけがさらに必要。			

【様式第1号】

保土ヶ谷区障害者地域自立支援協議会

R8年度 区精神net年間計画書

部会名：		区精神net			
部会長（氏名・所属先）：		雨宮（リビットはうす）		副部会長（氏名・所属先）：	
		三上（横浜SSJ）			
その他事務局員（氏名・所属）：保土ヶ谷区役所、保土ヶ谷区生活支援センター、保土ヶ谷区基幹相談支援センター					
問合せ先	氏名：	平良（たいら）		電話：	045-333-6111
	所属先：	保土ヶ谷区生活支援センター		メール：	hodogaya-s.c@ysjk.jp
構成機関 (事業所・人数)	相談支援従事者	2(2)	就労支援センター	2(2)	発達障害者支援センター
	障害福祉サービス事業者	15(17)	医療機関	4(4)	教育関係機関
	民間企業		高齢者介護の関係機関		当事者・当事者団体
	当事者の家族	1(3)	権利擁護関係団体・者		大学等
	公共職業安定所		保健所・保健センター	1(2)	保育所
	児童相談所		身体障害者相談員		知的障害者相談員
	民生・児童委員		地域住民代表		区福祉保健センター
	基幹相談支援センター	1(2)	生活支援センター	1(4)	地域ケアプラザ
	社会福祉協議会	1(1)	その他		合計
					33(42)
実施概要	広く精神保健福祉分野に関連する関係者同士の関係づくりを一層強化し、「保土ヶ谷に住んでよかった」と思えるまちづくりを目指すことを大目標に、主に事例検討や地域の共通課題の協議、その他つながり強化の取り組み等を行います。「コア会議」を中心にマネジメントを行い、事例検討等を主軸にした「全体会」に加え、地域移行・定着の推進を主テーマとした「ほどほどの会」と、「アウトリーチ支援チーム員会議」の2つの分科会の構成です。				
年間目標	「皆が主役！誰でも自分らしく暮らせるためにつながり支えあう区精神net！」というスローガンを掲げ、関係機関同士のつながりのさらなる強化、学び合い・支え合える関係構築を図る。「にも包括」推進に向け、部会活動を通した区体制整備に関連する解決アイデア等の試行や気づきを協議会全体にも発信する。				
月	活動内容				全体会 開催日時
4月	精神netコア会議（毎月第4水曜日）：全体の進捗共有や検討事項 全体会（毎月第2火曜）：今年度の予定確認、GW：ミニ（事例）相談会 アウトリーチ支援チーム員会議（毎月第2火曜日）：個別の支援検討・モニタリング ほどほどの会（毎月第3火曜日）：会の目的の共有と年間予定打ち合わせ				4月14日 (火) 15:45～17:30
5月	精神netコア会議（毎月第4水曜日）：全体の進捗共有や検討事項 全体会（毎月第2火曜）：事業所紹介、その他 アウトリーチ支援チーム員会議（毎月第2火曜日）：個別の支援検討・モニタリング ほどほどの会（毎月第3火曜日）：会の運営やあり方検討				5月12日 (火) 15:45～17:30
6月	精神netコア会議（毎月第4水曜日）：全体の進捗共有や検討事項 全体会（毎月第2火曜）：事例検討 アウトリーチ支援チーム員会議（毎月第2火曜日）：個別の支援検討・モニタリング ほどほどの会（毎月第3火曜日）：事例検討（入院中のケース）もしくは協働活動検討・実施				6月9日（火） 15:45～17:30
7月	精神netコア会議（毎月第4水曜日）：全体の進捗共有や検討事項 全体会（毎月第2火曜）：包括的支援＋重層的連携に関する学習会(予定) アウトリーチ支援チーム員会議（毎月第2火曜日）：個別の支援検討・モニタリング ほどほどの会（毎月第3火曜日）：事例検討（入院中のケース）もしくは協働活動検討・実施				7月14日 (火) 15:45～17:30
8月	精神netコア会議（毎月第4水曜日）：全体の進捗共有や検討事項 全体会（毎月第2火曜）：仮想事例検討（連携のシュミレーションと課題） アウトリーチ支援チーム員会議（毎月第2火曜日）：個別の支援検討・モニタリング ほどほどの会（毎月第3火曜日）：事例検討（入院中のケース）もしくは協働活動検討・実施				8月12日 (水) 15:45～17:30
9月	精神netコア会議（毎月第4水曜日）：全体の進捗共有や検討事項 全体会（毎月第2火曜）：上半期ダイジェスト、フェスタ準備、その他 アウトリーチ支援チーム員会議（毎月第2火曜日）：個別の支援検討・モニタリング ほどほどの会（毎月第3火曜日）：上半期振り返り（気づき等の整理）				9月8日（火） 15:45～17:30
10月	精神netコア会議（毎月第4水曜日）：全体の進捗共有や検討事項 全体会（毎月第2火曜）：医療・福祉・介護の座談会（連携・協働テーマ） アウトリーチ支援チーム員会議（毎月第2火曜日）：個別の支援検討・モニタリング ほどほどの会（毎月第3火曜日）：事例検討（入院中のケース）もしくは協働活動検討・実施				10月13日 (火) 15:45～17:30
11月	精神netコア会議（毎月第4水曜日）：全体の進捗共有や検討事項 全体会：わいわいフェスティバル アウトリーチ支援チーム員会議（毎月第2火曜日）：個別の支援検討・モニタリング ほどほどの会（毎月第3火曜日）：事例検討（入院中のケース）もしくは協働活動検討・実施 その他、普及啓発イベント実施予定				
12月	精神netコア会議（毎月第4水曜日）：全体の進捗共有や検討事項 全体会（毎月第2火曜）：ケアプラザ共催研修：権利擁護(予定) ほどほどの会（毎月第3火曜日）：事例検討（入院中のケース）もしくは協働活動検討・実施 アウトリーチ支援チーム員会議（毎月第3水曜日）：支援ケース共有・検討				12月8日 (火) 15:45～17:30
1月	精神netコア会議（毎月第4水曜日）：全体の進捗共有や検討事項 アウトリーチ支援チーム員会議（毎月第2火曜日）：個別の支援検討・モニタリング ほどほどの会（毎月第3火曜日）：事例検討（入院中のケース）もしくは協働活動検討・実施				
2月	精神netコア会議（毎月第4水曜日）：全体の進捗共有や検討事項 全体会（毎月第2火曜）：区精神ネット全体の年間報告と次年度、にも包括シートの共有。 アウトリーチ支援チーム員会議（毎月第2火曜日）：個別の支援検討・モニタリング ほどほどの会（毎月第3火曜日）：事例検討（入院中のケース）もしくは協働活動検討・実施				2月9日 (火) 15:45～17:30
3月	精神netコア会議（毎月第4水曜日）：全体の進捗共有や検討事項 全体会（毎月第2火曜）：①総括と次年度の予定について、②アセスメント／ケースフォーミュレーションのミニ研修 アウトリーチ支援チーム員会議（毎月第2火曜日）：モニタリング・総括と次年度について ほどほどの会（毎月第3火曜日）：総括と次年度の予定について				3月9日 (火) 15:45～17:30
必要予算の予算とその内容 あるとすれば、共催研修等の講師謝金とイベント実施の諸費用。（1万円～3万円程度）					
その他自由記載（部会活動を通して、区の障害福祉についてや区自立支援協議会について、より「こうなったらいいな」「これができたらいいな」などと共有できた課題についてもご記入をお願いします。）					

部会名：		相談支援部会					
部会長（氏名・所属先）			副部会長（氏名・所属先）			田中（相談支援事業所わおん）	
構成機関	相談支援従事者	28	就労支援センター	1	発達障害者支援センター	1	
	障害福祉サービス事業者	5	医療機関	2	教育関係機関	1	
	民間企業		高齢者介護の関係機関		当事者・当事者団体		
	当事者の家族		権利擁護関係団体・者	1	大学等		
	公共職業安定所		保健所・保健センター		保育所		
	児童相談所		身体障害者相談員		知的障害者相談員		
	民生・児童委員		地域住民代表		区福祉保健センター	1	
	基幹相談支援センター	1	生活支援センター	1	地域ケアプラザ		
	社会福祉協議会		その他	2	合計		44
年間目標	・相談員が一人で孤立しない為にも、相談員から相談員への助言等を行い、事業所の垣根を超えて互いに相談支援のスキルアップができる。 ・事例検討を通して自立支援協議会の他部会、高齢・児童など他分野と連携して地域課題を明確化し、解決に向けて具体的な取り組みを積み重ねていく。						
月	活動内容						会議開催日時
4月	交流会（勉強会 地域生活支援拠点、入所施設の話 恵和青年寮 佐野氏） / 場所：区役所地下会議室						4月25日（金） 15:30～17:30
5月	CW/MSW 顔合わせ / 場所：区役所地下会議室 → 交流会 場所：かるがも2階多目的ホール						5月9日（金） 9:30～11:30
6月	事例検討Ⅰ グループスーパービジョンの体験 / 場所：区役所401会議室 講師：グリーンフォレスト 五浦氏						6月27日（金） 15:30～17:30
7月	勉強会Ⅰ テーマ：ファシリテーションについて 講師：光の丘相談室 上村氏/ 場所：区役所地下会議室						7月25日（金） 15:30～17:30
8月							
9月	事例検討Ⅱ グループスーパービジョンの体験（実践） / 場所：区役所401会議室 講師：グリーンフォレスト 五浦氏 ゲスト：花みずき 黒川氏						9月26日（金） 15:30～17:30
10月	休会						
11月	勉強会Ⅱ テーマ：虐待防止 講師：恵和 上條氏 / 場所：区役所地下会議室						11月28日（金） 15:30～17:30
12月	グループワーク（初任研インターバル実習受け入れ） / 場所：区役所地下会議室 ゲスト：保土ケ谷区社協 工藤氏						12月12日（金） 15:30～17:30
1月	事例検討Ⅲ 9月に実施したGSVのケースを振り返る キティメソッド保土ケ谷版にて 場所：区役所地下会議室						1月23日（金） 15:30～17:30
2月	今年度の振り返り、協働体制の取り組みについて報告 / 場所：区役所地下会議室						2月27日（金） 15:30～17:30
3月							
連携・協働による課題解決の仕組み	部会でできたこと・やったこと ・定例会（勉強会、事例検討、交流会、インターバル実習受け入れ） ・事業所訪問 区内の全相談支援事業所を訪問できた ・協働体制 昨年3月より発足し、順調に進んでいる ・西部ブロック相談連絡会への参加						
	運営上の課題 ・継続して参加することが難しい事業所がいくつかある。事業所訪問での対応となる。 ・区内の計画相談の決定数が増えていかない ・人材育成について、どのような人材を育成していくことを目指すか ・地域課題の取り扱いについて、部会で検討していくにはテーマが大きく、ぼやけてしまう						
シェアしたい取組 協働体制の成果 キティメソッド保土ケ谷版での事例検討			市域で共有・検討したい課題 運営上の課題、と同様				

部会名：		相談支援部会					
部会長（氏名・所属先）：		田中（相談支援事業所わおん）		副部会長（氏名・所属先）：		居木（ほどがや地域活動ホームゆめ）	
谷口（夢21相談支援事業所）、浅野（地域生活支援センター）、上村（光の丘相談室） その他事務局員（氏名・所属）：前沢（保土ヶ谷区生活支援センター）遠藤・矢板（保土ヶ谷区基幹相談支援センター） 明田川・山本（保土ヶ谷区 高齢障害支援課）							
問合せ先	氏名：	田中		電話：	070-3762-2813		
	所属先：	相談支援事業所わおん		メール：	tanaka-y@te-tote.jp		
構成機関	相談支援従事者	28	就労支援センター	1	発達障害者支援センター	1	
	障害福祉サービス事業者	5	医療機関	2	教育関係機関	1	
	民間企業		高齢者介護の関係機関		当事者・当事者団体		
	当事者の家族		権利擁護関係団体・者	1	大学等		
	公共職業安定所		保健所・保健センター		保育所		
	児童相談所		身体障害者相談員		知的障害者相談員		
	民生・児童委員		地域住民代表		区福祉保健センター	1	
	基幹相談支援センター	1	生活支援センター	1	地域ケアプラザ		
	社会福祉協議会		その他	2	合計		44
実施概要	相談支援のネットワークを構築するとともに、地域資源（インフォーマル含む）や制度等、支援に活かせる幅広い情報を共有・学ぶ場として実施する。また、それを通して本人を中心とした質の高い相談支援と、地域課題の抽出を実施できる人材の育成を図る。						
年間目標	・それぞれの相談員が、自分自身のこと、所属する組織、関わる支援チーム、地域をマネジメントしていくことを意識し、取り組みを通してスキルアップしていきます。 ・他部会との連携を通して課題を共有し、具体的に取り組めることを模索します。						
月	活動内容						会議開催日時
4月	①勉強会Ⅰ：地域課題について（光の丘 上村氏）、交流会 / 場所：区401会議室						4月24日（金） 15：30-17：30
5月	②CW/MSW 顔合わせ / 場所：区201会議室 → 交流会 場所：かるがも3階多目的研修室						5月15日（金） 9：30-11：30
6月	③勉強会Ⅱ：計画相談業務について 実務的なこと、ICTの活用（秀峰会 横山氏） 場所：保土ヶ谷区役所地下会議室						6月26日（金） 15：30-17：30
7月	④事例検討Ⅰ：グループスーパービジョンを用いて / 場所：保土ヶ谷区役所地下会議室						7月24日（金） 15：30-17：30
8月							
9月	⑤勉強会Ⅲ：意思決定支援について（淑徳大学 鈴木先生） / 場所：保土ヶ谷区役所地下会議室						9月25日（金） 15：30-17：30
10月	⑥事例検討Ⅱ：グループスーパービジョンを用いて / 場所：保土ヶ谷区役所地下会議室						10月23日（金） 15：30-17：30
11月	⑦事例検討Ⅲ：まちで暮らすネットワーク 地域生活支援部会 とのコラボ キティメソッド保土ヶ谷版 / 場所：保土ヶ谷区役所地下会議室						11月27日（金） 15：30-17：30
12月	⑧初任研インターバル実習受け入れ グループワーク / 場所：保土ヶ谷区役所地下会議室						12月25日（金） 15：30-17：30
1月							
2月	⑨今年度の振り返り、次年度に向けて / 場所：保土ヶ谷区役所地下会議室						2月26日（金） 15：30-17：30
3月	（精神netとのコラボ勉強会：アセスメント、ケースフォーミュレーション【光の丘 鈴木氏】） 場所：未定						3月9日（火） 15：45
必要予定の予算とその内容							
講師謝礼金：2回× 30,000円 = 60,000円 （前年度と同様としました）							
その他自由記載（部会活動を通して、区の障害福祉についてや区自立支援協議会について、より「こうなったらいいな」「これができたらいいな」などと共有できた課題についてもお記入をお願いします。）							
地域課題の抽出について、各部会やワーキンググループ等であがっている物を持ち寄って共有、検討するのが良いと思われます。							

部会名：		こども部会			
部会長（氏名・所属先）		山下（ゆめのね）		副部会長（氏名・所属先）	
構成機関	相談支援従事者		就労支援センター		発達障害者支援センター
	障害福祉サービス事業者	35	医療機関		教育関係機関
	民間企業		高齢者介護の関係機関		当事者・当事者団体
	当事者の家族	1	権利擁護関係団体・者		大学等
	公共職業安定所		保健所・保健センター		保育所
	児童相談所	1	身体障害者相談員		知的障害者相談員
	民生・児童委員		地域住民代表		区福祉保健センター
	基幹相談支援センター	1	生活支援センター		地域ケアプラザ
	社会福祉協議会		その他	2	合計
年間目標	・子ども部会を、気軽に繋がることが出来る場として多職種との顔の見える関係を構築する機会とする。 ・保土ヶ谷区版、放ディMAPの冊子作製に向け各事業所に協力をお願いするとともに横の繋がりの強化を図る。 ・子供から大人まで、ライフステージに応じた切れ目のない支援について課題抽出を行い区域で共有する。 ・民生・児童委員や地域住民等とも交流できる機会とし、地域に障害理解を広げる。				
月	活動内容				会議開催日時
4月					
5月					
6月	交流会 ・ 場所：保土ヶ谷区役所3階 301・302会議室 10:00～				6/23(月)
7月					
8月					
9月	勉強会				中止
10月					
11月					
12月	勉強会「事例検討を通して連携の輪を広げよう」 10:00～保土ヶ谷区役所301・302				12/15(月)
1月					
2月	年度振り返り ・ 場所：保土ヶ谷区役所2階 202				2/4(水)
3月					
連携・協働による課題解決の仕組み	部会でできたこと・やったこと ・交流会や事例検討を通して、他機関多職種の支援者との連携が深まり、支援の幅が広がった。 ・保土ヶ谷区版の放ディ冊子作製を行った。				
	運営上の課題 ・放ディ事業所、学校、地域ケアプラザ、基幹相談等関係機関との連携を深めたり、事業所の見学会等を行って情報共有できる場の構築。 ・ライフステージに応じた切れ目のない支援についての課題抽出については、抽出の仕組みづくりから次年度へ取り組みたい。 ・他区のこども部会の取り組み状況について、事務局も把握していない。他区の状況を知って、保土ヶ谷区に持ち帰る機会を持ちたい。				
シェアしたい取組		市域で共有・検討したい課題 ・障害児相談支援のリソース不足に起因する『のぞまないセルフプラン』の常態化は、本来最優先されるべき児童本人の意思決定支援を困難にしている。結果として、支援の目的が『本人の最善の利益』ではなく『養育者の都合』に偏重せざるを得ない構造的課題が生じており、市域全体での相談体制の抜本的拡充が不可欠である。 ・緊急一時保護で障害児入所施設に繋がった際、「住まい」の安全は確保はできて、そこから元の学校や支援学校への「通学の確保」が物理的・人間的にできず、学びの機会が途絶えてしまう。			

【様式第1号】

保土ヶ谷区障害者地域自立支援協議会

令和8年度 部会年間計画書

部会名：		こども部会			
部会長（氏名・所属先）：		山下（ゆめのね）		副部会長（氏名・所属先）：	
				田畑（en和田町）	
その他事務局員（氏名・所属）：こども家庭支援課（高瀬）、保土ヶ谷支援学校（杉本・立花）、今井地域ケアプラザ（鈴木）、基幹相談（月見） ゆめのね（橋間・山下）、上菅田特別支援学校（北）、すみれ園（鈴木）、en和田町（田畑）					
問合せ先	氏名：	月見		電話：	045-333-8611
	所属先：	保土ヶ谷区基幹相談支援センター		メール：	hodogaya-kan@hodogayayume.onmicrosoft.com
構成機関	相談支援従事者		就労支援センター		発達障害者支援センター
	障害福祉サービス事業者	35	医療機関		教育関係機関
	民間企業		高齢者介護の関係機関		当事者・当事者団体
	当事者の家族	1	権利擁護関係団体・者		大学等
	公共職業安定所		保健所・保健センター		保育所
	児童相談所	1	身体障害者相談員		知的障害者相談員
	民生・児童委員		地域住民代表		区福祉保健センター
	基幹相談支援センター	1	生活支援センター		地域ケアプラザ
	社会福祉協議会		その他	2	合計
				61	
実施概要	地域における子どもや家庭を取り巻く様々な現状を知り、支援に対する理解を深めるとともに、部会の交流会を通して関係機関との連携を図る。				
年間目標	・子ども部会を気軽に繋がる場として、多職種との顔の見える関係を構築する機会とする。 ・こどもから大人までライフステージに応じた切れ目のない支援について、保土ヶ谷区の課題を抽出する仕組みを検討する。				
月	活動内容				会議開催日時
4月	事務局会：9：30～/ゆめボランティアルーム				4/16(木)
5月	まちで暮らすネット（地域生活支援部会）との共催：事例検討：10：00～/区役所地下会議室				5/18(月)
6月	交流会・勉強会：10：00～12：00/区役所301・302会議室				6/22(月)
7月	事務局会：10：00～/ゆめボランティアルーム				7/16(木)
8月					
9月	勉強会① 事例検討：10：00～12：00/区役所301・302会議室				9/14(月)
10月	事務局会：10：00～/ゆめボランティアルーム				10/15(木)
11月					
12月	勉強会②（事業所・施設見学会）/場所・時間（午前中）未定				12/14(月)
1月	事務局会：10：00～/ゆめボランティアルーム				1/21(木)
2月	年度振り返り/区役所202会議室				2/1(月)
	事務局会：10：00～/ゆめボランティアルーム				2/4(木)
3月					
必要予算の予算とその内容 ・講師謝礼金として¥30000（¥30000×1回）					
その他自由記載（部会活動を通して、区の障害福祉についてや区自立支援協議会について、より「こうなったらいいな」「これができたらいいな」などと共有できた課題についてもご記入をお願いします。） ・地域に向けての障害理解の普及・啓発に関する学習会を、区の事業と子ども部会との共催で実施を検討する。					

部会名：		防災部会				
部会長（氏名・所属先）		誉田氏（ときわ虹の会）		副部会長（氏名・所属先）		中戸川
構成機関	相談支援従事者	1	就労支援センター		発達障害者支援センター	
	障害福祉サービス事業者	15	医療機関	1	教育関係機関	1
	民間企業		高齢者介護の関係機関		当事者・当事者団体・家族	4
	当事者の家族	3	大学等		公共職業安定所	
	公共職業安定所		保育所		児童相談所	
	児童相談所		知的障害者相談員		民生・児童委員	
	民生・児童委員		地域住民代表		区福祉保健センター	1
	基幹相談支援センター	1	生活支援センター		地域ケアプラザ	
	社会福祉協議会	1	その他	2	合計	27
年間目標	・被災地障害者センター横浜ほ도가や（以下センター）の具現に向けての課題の整理・解決、訓練や部会以外の方への周知を行う。 ・災害時に必要な知識について学ぶ機会を設ける。 ・防災訓練実施への啓発					
月	活動内容					会議開催日時
4月(事務局)	・被災地障害者センター横浜ほ도가や（以下センター）の「運営マニュアル」の読み合わせ、LINEオープンチャットの練習、今年度の防災部会の進め方、区の寄付金による備品購入について等					活動ホームゆめ 4/16 16:00～17:30
6月	・センター「開設・運営マニュアルについて」、総会の実施、災害発生時HPの作成、研修の実施、保土ヶ谷区からの寄付と区制100周年についてなど					活動ホームゆめ 6/11 16:00～17:30
8月(事務局)	・たちばな会防災研修について、センター開設訓練について、センターHP作成について、研修の実施、備品の購入、区民まつり参加など					活動ホームゆめ 8/20 16:00～17:30
10月	・災害訓練などの状況と課題について、各事業所の災害対策への情報交換、センター備品リストについて、区民まつりについて、研修の実施について、総会の実施など					活動ホームゆめ 6/17 16～17:30
1月(事務局)	・備品購入について、研修について、区災ボラ訓練報告、区制100周年への取り組みについて、次年度の計画について					1月8日(水) 16時00分～17時30分
2月	令和8年度 防災部会研修 東日本大震災の教訓 ～見えない障害への支援～ 講師：相馬広域こころのケアセンターなごみセンター長 米倉一磨様					2月18日(水) 16時00分～18時
連携・協働による課題解決の仕組み	部会でできたこと・やったこと ・センター事務局のLINEオープンチャット作成 ・センター総会の実施、センターの周知として当事者 団体研修参加、区民祭り参加、区への寄付による備品購入、各事業所の防災についての情報交換					
	運営上の課題 ・HPや周知・SOSチラシの作成 ・必要備品の購入、保管場所の確保 ・実際に災害が発生したときの連携					
シェアしたい取組			市域で共有・検討したい課題			
・センターが開設した事の周知を障害関係者以外にも行う ・参加者の防災についての情報交換 ・能登半島地震の被災された方のお話を聞く。			・このセンターを保土ヶ谷区以外にも開設して欲しい ・防災意識の向上 ・市域で助け合える関係性の構築 ・地域住民、企業との連携 ・行政、社協、地域、他団体との協力・連携			

部会名：		防災部会				
部会長（氏名・所属先）：		菅田氏（ときわ虹の会）		副部会長（氏名・所属先）：		中戸川氏（たちばな会）
その他事務局員（氏名・所属）：菅田氏（ときわ虹の会）、中戸川氏（たちばな会）、戸村氏（いわまワークス）、遠藤氏（夢21上星川）、 島田氏・早坂氏（きてん）、杵元氏・吉田氏（区役所）、村瀬氏（区社協）、遠藤氏（基幹）、野口氏（ゆめ）						
問合せ先	氏名：	遠藤氏		電話：	045-333-8611	
	所属先：	保土ケ谷区基幹相談支援センター		メール：	hodogaya-kikan@hodogayayume.onmicrosoft.com	
構成機関	相談支援従事者	1	就労支援センター		発達障害者支援センター	
	障害福祉サービス事業者	15	医療機関	1	教育関係機関	2
	民間企業		高齢者介護の関係機関		当事者・当事者団体	2
	当事者の家族	3	権利擁護関係団体・者		大学等	
	公共職業安定所		保健所・保健センター		保育所	
	児童相談所		身体障害者相談員		知的障害者相談員	
	民生・児童委員		地域住民代表		区福祉保健センター	1
	基幹相談支援センター	1	生活支援センター		地域ケアプラザ	
	社会福祉協議会	1	その他		合計	27
実施概要	保土ケ谷区における自然災害時の障害のある方たちへの支援について、課題や問題点を抽出し、円滑に防災対策が進められるよう準備を整え、あわせて地域での防災意識を高める取り組みを行っていく。					
年間目標	・被災地障害者センター横浜ほどがやの総会・備品使用訓練の実施、センターHP、SOSチラシの作成。 ・災害時に必要な知識について学ぶ機会を設ける。 ・他の部会と協力してセンターの周知。・他団体との連携・協力 ・区制100周年への取り組み					
月						
4月	【事務局】今年度の取組の確認、（自）全体会への準備、研修の計画、防災についての情報交換					活動ホームゆめ 4/15 16～17:30
5月						
6月	・新規参加者への部会での取り組みの紹介、防災についての情報交換、防災についての情報交換					活動ホームゆめ 6/10 16～17:30
7月						
8月	【事務局】各部会とのコラボの検討、センターHP、SOSチラシの作成、備品使用訓練の準備、防災についての情報交換					活動ホームゆめ 8/19 16～17:30
9月						
10月	・備品使用訓練の実施、被災地障害者センター横浜ほどがや 総会					活動ホームゆめ 10/14 16～17:30
11月						
12月						
1月	【事務局】訓練振り返り、各部会とのコラボについて、次年度の計画、防災についての情報交換					活動ホームゆめ 1/13 16～17:30
2月	・研修の実施、防災についての情報交換、年度振り返り					活動ホームゆめ 2/17 16～17:30
3月						
必要予定の予算とその内容 ・SOSチラシ（¥7,500）、開設チラシの印刷代（¥7,500）。研修講師の費用（¥30,000） 合計 ¥45,000						
その他自由記載（部会活動を通して、区の障害福祉についてや区自立支援協議会について、より「こうなったらいいな」「これができたらいいな」などと共有できた課題についてもお記入をお願いします。） ・被災地障害者センター横浜ほどがやの取り組みを各部会とコラボして区域の事業所に広めていざという時の為に協力事業所を増やして行きたい。 ・積極的に各団体と連携していきたい。						

部会名：		当事者活動支援部会			
部会長（氏名・所属先）		竹内氏		副部会長（氏名・所属先）	
構成機関	相談支援従事者		就労支援センター		発達障害者支援センター
	障害福祉サービス事業者	2	医療機関		教育関係機関
	民間企業		高齢者介護の関係機関		当事者・当事者団体
	当事者の家族		権利擁護関係団体・者		大学等
	公共職業安定所		保健所・保健センター		保育所
	児童相談所		身体障害者相談員		知的障害者相談員
	民生・児童委員		地域住民代表		区福祉保健センター
	基幹相談支援センター	1	生活支援センター		地域ケアプラザ
	社会福祉協議会	1	その他		合計
					7
年間目標	・会議を月に1回程度実施。当事者・家族の交流を深めながら、地域や支援者向け啓発活動を企画する。 ・新たな部会員を常に迎えやすい部会とする。・部会員の交流や情報交換を深める。 ・当事者が楽しめる祭り、イベントの開催の企画。・福祉教育との連携				
月	活動内容				会議開催日時
4月	次年度の具体的な計画について、茶話会について、普及啓発活動についてなど				4月16日(水) 17時30分～18時30分
6月	・当事者・家族の交流を深めながら、地域や支援者向け啓発活動を企画する。・新たな部会員を常に迎えやすい部会とする。・部会員の交流や情報交換を深める。 ・区制100周年事業への協力・福祉教育との連携				6月11日(水) 13時30分～15時00分
8月	・電話リレーサービス講座振り返り、区政100周年イベントについて、初夢まつり参加について、				8月20日(水) 17時30分～18時30分
10月	・区政100周年イベントについて ・初夢まつりへの参加について				10月15日(水) 17時30分～18時30分
1月	・初夢まつりの参加について ・区制100周年イベントについて ・次年度の計画について				1月14日(水) 17時30分～18時30分
連携・協働による課題解決の仕組み	部会でできたこと・やったこと ・お互いがお互いを知る事が出来た。 ・初夢まつりに参加出来て普及啓発が出来た。				
	運営上の課題 ・当事者活動支援部会に期待される役割、活動の方向性を事務局に問い、部会の現状を見直す。 ・区政100周年イベントへの協力について整理する。				
シェアしたい取組 ・数年語、地域に向けて地域と共同して何らかの大きな啓発活動（以前の映画上映のような）に発展させることを目指し、次年度はその第一歩目、基礎固めとなる活動を行う。			市域で共有・検討したい課題 保土ヶ谷区の自立支援協議会にしかこの当事者活動支援部会がないので他区でも取り組めるように実績を残し啓発をしていきたい。また、域拠点整備計画にどのように協力していくかを検討したい。		

部会名：		当事者活動支援部会			
部会長（氏名・所属先）：		竹内氏		副部会長（氏名・所属先）：	
その他事務局員（氏名・所属）：当事者、ときわ虹の会、すまいる、保土ケ谷区生活支援センター、きてん、基幹相談					
問合せ先	氏名：	田村氏		電話：	045-333-8611
	所属先：	保土ケ谷区基幹相談支援センター		メール：	hodogaya-kan@hodogayayume.onmicrosoft.com
構成機関	相談支援従事者		就労支援センター		発達障害者支援センター
	障害福祉サービス事業者	1	医療機関		教育関係機関
	民間企業		高齢者介護の関係機関		当事者・当事者団体・家族
	当事者の家族		大学等		公共職業安定所
	公共職業安定所		保育所		児童相談所
	児童相談所		知的障害者相談員		民生・児童委員
	・会議を月に1回程度実施		地域住民代表		区福祉保健センター
	基幹相談支援センター	1	生活支援センター	1	地域ケアプラザ
	社会福祉協議会		その他		合計
					6
実施概要	障害当事者が、権利の主体として主体的に参加するための方策を検討し、それを区域で具体化させる。活動に通じて当事者間のつながりを広げていく。また啓発啓蒙活動を行い、地域の中で障害当事者が「普通」に生きている事を地域住民に知ってもらう。				
年間目標	・当事者・家族の交流を深めながら、地域や支援者向け啓発活動を企画する。・新たな部会員を常に迎えやすい部会とする。・部会員の交流や情報交換を深める。 ・区制100周年事業への協力・福祉教育との連携				
月					会議開催日時
4月	顔合わせ・年間スケジュール確認 【会場】地域活動ホームゆめ				4/15 17:30～18:30
6月					
8月	部会員の交流、情報交換、啓発イベントへの参加 【会場】地域活動ホームゆめ				8/19 17:30～18:30
10月					
11月					
12月					
1月					
2月	年間報告・次年度計画検討 【会場】地域活動ホームゆめ				2/17 17:30～18:30
3月					
必要予定の予算とその内容					
その他自由記載（部会活動を通して、区の障害福祉についてや区自立支援協議会について、より「こうなったらいいな」「これができるたらいいな」などと共有できた課題についてでもご記入お願いします。） ・区制100周年事業の協力者を増やしたい。					

部会名：		自主製品販売部会				
部会長（氏名・所属先）		金井（ゆめわーく）		副部会長（氏名・所属先）		武藤（ほどがやカルガモの会）
構成機関	相談支援従事者			就労支援センター		発達障害者支援センター
	障害福祉サービス事業者	17		医療機関		教育関係機関
	民間企業			高齢者介護の関係機関		当事者・当事者団体
	当事者の家族			権利擁護関係団体・者		大学等
	公共職業安定所			保健所・保健センター		保育所
	児童相談所			身体障害者相談員		知的障害者相談員
	民生・児童委員			地域住民代表		区福祉保健センター
	基幹相談支援センター			生活支援センター		地域ケアプラザ
	社会福祉協議会	1		その他		合計
						19
年間目標	障害者の社会参加、工賃向上、地域交流のため自主製品販売の充実、促進を目指す					
月	活動内容					会議開催日時
4月	会計監査（8日）、自主製品販売強化実行委員会会議（会計監査、区役所・星川駅・イオン販売等）、区役所販売（14日間、8事業所、延16事業所出店）、イオン天王町SC出張販売（16日、9事業所出店）					15日
5月	自主製品販売強化実行委員会会議（区役所・星川駅・イオン・西谷浄水場販売等）、区役所販売（10日間、6事業所、延11事業所出店）、星川駅出張販売（21日～23日、14事業所、延17事業所出店）、イオン天王町SC出張販売（14日、7事業所出店）					20日
6月	自主製品販売強化実行委員会会議（新規加入、区役所・星川駅・イオン・西谷浄水場販売等）、区役所販売（15日間、8事業所、延17事業所出店）、イオン天王町SC出張販売（18日、10事業所出店）、西谷浄水場出張販売（25日、3事業所出店）、あじさい祭り出店販売（7日、2事業所）					17日
7月	自主製品販売強化実行委員会会議（区役所・星川駅・イオン・西谷浄水場販売、福祉のマルシェ等）、区役所販売（13日間、8事業所、延15事業所出店）、イオン天王町SC出張販売（16日、7事業所出店）					15日
8月	自主製品販売強化実行委員会会議（区役所・星川駅・イオン販売、福祉のマルシェ等）、区役所販売（13日間、9事業所、延13事業所出店）、イオン天王町SC出張販売（27日、9事業所出店）					19日
9月	自主製品販売強化実行委員会会議（区役所・星川駅・イオン・西谷浄水場販売、福祉マルシェ等） 区役所販売（9日間、7事業所、延10事業所出店）、イオン天王町SC出張販売（17日、8事業所出店）、福祉のマルシェ（5日間、6事業所、延11事業所出店）、西谷浄水場出張販売（24日、2事業所出店）					16日
10月	自主製品販売強化実行委員会会議（区役所・星川駅・イオン・西谷浄水場販売、福祉のマルシェ等）、区役所販売（11日間、9事業所、延14事業所出店）、イオン天王町SC出張販売（15日、6事業所出店）、福祉のマルシェ（4日間、3事業所、延6事業所出店）、星川駅出張販売（20日～24日、15事業所、延22事業所出店、瀬谷区から2事業所が20日に、基幹相談支援センターが相談ブースを20日と23日に設置）					21日
11月	自主製品販売強化実行委員会会議（区役所・星川駅・イオン・西谷浄水場販売、福祉のマルシェ等）、区役所販売（15日間、8事業所、延15事業所出店）、イオン天王町SC出張販売（12日、8事業所出店）、福祉のマルシェ（4日間、4事業所、延6事業所出店）					18日
12月	自主製品販売強化実行委員会会議（区役所・星川駅・イオン・西谷浄水場販売、福祉のマルシェ等）、区役所販売（13日間、9事業所、延15事業所出店）、イオン天王町SC出張販売（3日、8事業所出店）、福祉のマルシェ（4日間、3事業所、延6事業所出店）					16日
1月	自主製品販売強化実行委員会会議（区役所・星川駅・イオン・西谷浄水場販売、福祉のマルシェ等）、区役所販売（14日間、10事業所、延17事業所出店）、イオン天王町SC出張販売（28日、8事業所出店）、福祉のマルシェ（3日間、3事業所、延5事業所出店）、西谷浄水場出張販売（28日、3事業所出店）					20日
2月	自主製品販売強化実行委員会会議（区役所・星川駅・イオン・西谷浄水場販売、福祉のマルシェ等）、区役所販売（16日間、10事業所、延20事業所出店）、イオン天王町SC出張販売（18日、9事業所出店）、福祉のマルシェ（4日間、3事業所、延6事業所出店）					17日
3月	自主製品販売強化実行委員会会議（区役所・星川駅・イオン・西谷浄水場販売、福祉のマルシェ等）、区役所販売（14日間、9事業所、延16事業所出店）、イオン天王町SC出張販売（18日、8事業所出店）、福祉のマルシェ（4日間、3事業所、延6事業所出店）					17日
連携・協働による課題解決の仕組み	部会でできたこと・やったこと 毎月1回会議にて販売報告・調整等。6月、9月、1月に1事業所ずつ計3事業所加入。ビジネスパーク内での販売会を9月より開始し月数回開催。区役所販売は昨年度より日数、出店事業所が増えた。イオン販売も昨年度より出店事業所が増えた。星川駅販売は5月に3日間で14事業所が出店、10月は5日間開催し15事業所が出店。瀬谷区の2事業所もゲスト出店した。西谷浄水場販売は6月、9月、1月に実施。基幹相談支援センターがイオン販売や星川駅販売の際「福祉のよろず相談」ブースを開設され、協働が図られている。区役所販売ブースには区政推進課より提供いただいたぼびーを掲示したり、星川駅販売ではGREEN×EXPOや区制100周年のチラシ配り、のぼり設置をしたり、1月から3月のイオン販売の際には、区の職員による区制100周年のPR活動との協同を行った。					
	運営上の課題 1. 区役所販売は売り上げが少ない傾向にあり、賞味期限の短い食品は売れ残りの問題がある。 2. 西谷浄水場販売では、一昨年度より年に数回、昼食となる食品を中心に販売しているが、売れ残りが多かったり、逆に短時間で完売となる日があるなど、販売傾向が読めない状況にある。また出店事業所が今年度は少なくなっている。 3. イオン販売会場が9月から2階に変更となり人通りが少ないため、売り上げはやや減少傾向にある。 4. ビジネスパークでの販売活動が始まり、販売の定着化に向けての取り組みが課題となっている。また現金以外の支払い方法が求められることが多いのも今後の販売活動全体の課題である。 5. 地域ケアプラザより土日のイベントでの出店依頼が増えているが、体制上、応じられないことが多い。					
シェアしたい取組				市域で共有・検討したい課題		
販売活動の際に他の部会の情報発信をする取組など。また、相鉄沿線販売やイオン、ビジネスパークでの出張販売など、他区の自立支援協議会や企業などと様々な取組をしていること。						

【様式第1号】

保土ヶ谷区障害者地域自立支援協議会

令和8年度 部会年間計画書

部会名：		自主製品販売部会				
部会長（氏名・所属先）：		金井（ゆめわーく）		副部会長（氏名・所属先）： 梶沢（さかもとてらす）		
その他事務局員（氏名・所属）：		会計 カ石、平野（トラック） 会計補佐 石川、安彦（ダンボのお店） 梶元係長（保土ヶ谷区高齢・障害支援課）				
問合せ先	氏名：	金井		電話：	045-744-9404	
	所属先：	ゆめわーく		メール：	etsuko.k@hodogayayume.onmicrosoft.com	
構成機関	相談支援従事者		就労支援センター		発達障害者支援センター	
	障害福祉サービス事業者	17	医療機関		教育関係機関	
	民間企業		高齢者介護の関係機関		当事者・当事者団体	
	当事者の家族		権利擁護関係団体・者		大学等	
	公共職業安定所		保健所・保健センター		保育所	
	児童相談所		身体障害者相談員		知的障害者相談員	
	民生・児童委員		地域住民代表		区福祉保健センター	1
	基幹相談支援センター		生活支援センター		地域ケアプラザ	
	社会福祉協議会	1	その他		合計	19
実施概要	パンやお菓子、手工芸品などを作っている区内17の障害福祉事業所が集まり、障害者の社会参加、工賃向上、地域交流のため区内各地の販売拠点で自主製品の販売活動を行っている。また毎月1回の定例会を実施。					
年間目標	障害者の社会参加、工賃向上、地域交流のため自主製品販売の充実、促進を目指す					
月	活動内容				会議開催日時	
4月	会計監査、自主製品販売強化実行委員会会議 【定例会会場】 地域活動ホームゆめ食堂 区役所販売、イオン天王町SC販売、横浜ビジネスパーク販売				21日（火） 16:30～	
5月	自主製品販売強化実行委員会会議 【定例会会場】 地域活動ホームゆめ食堂 区役所販売、イオン天王町SC販売、相鉄線星川駅販売、横浜ビジネスパーク販売				19日（火） 16:30～	
6月	自主製品販売強化実行委員会会議 【定例会会場】 地域活動ホームゆめ食堂 区役所販売、イオン天王町SC販売、横浜ビジネスパーク販売				16日（火） 16:30～	
7月	自主製品販売強化実行委員会会議 【定例会会場】 地域活動ホームゆめ食堂 区役所販売、イオン天王町SC販売、横浜ビジネスパーク販売				21日（火） 16:30～	
8月	自主製品販売強化実行委員会会議 【定例会会場】 地域活動ホームゆめ食堂 区役所販売、イオン天王町SC販売、横浜ビジネスパーク販売				18日（火） 16:30～	
9月	自主製品販売強化実行委員会会議 【定例会会場】 地域活動ホームゆめ食堂 区役所販売、イオン天王町SC販売、横浜ビジネスパーク販売				15日（火） 16:30～	
10月	自主製品販売強化実行委員会会議 【定例会会場】 地域活動ホームゆめ食堂 区役所販売、イオン天王町SC販売、相鉄線星川駅販売、横浜ビジネスパーク販売				20日（火） 16:30～	
11月	自主製品販売強化実行委員会会議 【定例会会場】 地域活動ホームゆめ食堂 区役所販売、イオン天王町SC販売、横浜ビジネスパーク販売				17日（火） 16:30～	
12月	自主製品販売強化実行委員会会議 【定例会会場】 地域活動ホームゆめ食堂 区役所販売、イオン天王町SC販売、横浜ビジネスパーク販売				15日（火） 16:30～	
1月	自主製品販売強化実行委員会会議 【定例会会場】 地域活動ホームゆめ食堂 区役所販売、イオン天王町SC販売、横浜ビジネスパーク販売				19日（火） 16:30～	
2月	自主製品販売強化実行委員会会議 【定例会会場】 地域活動ホームゆめ食堂 区役所販売、イオン天王町SC販売、横浜ビジネスパーク販売				16日（火） 16:30～	
3月	自主製品販売強化実行委員会会議 【定例会会場】 地域活動ホームゆめ食堂 区役所販売、イオン天王町SC販売、横浜ビジネスパーク販売				16日（火） 16:30～	
必要予算の予算とその内容 0円（保土ヶ谷区障害者地域支えあい連携推進事業補助金を予定（ボランティア謝金、広報物製作等に支出）						
その他自由記載（部会活動を通して、区の障害福祉についてや区自立支援協議会について、より「こうなったらいいな」「これができたらいいな」などと共有できた課題についてもご記入をお願いします。）						
上記の他、年に数回西谷浄水場販売を予定。 イオン販売や星川駅販売の際、2024年度から行っている「福祉のよろず相談」ブースの継続設置希望。 また販売は地域の方と直接関われる機会でもあるので、区役所販売ブースやイオン・星川駅での相談ブースにおいて、他部会イベントのPRや販売部会以外の障害福祉事業所その他機関などの紹介ができると良いと思う。						

部会名：		ほっとらんど					
部会長（氏名・所属先）		カ石純子・トラック		副部会長（氏名・所属先）			
構成機関	相談支援従事者			就労支援センター		発達障害者支援センター	
	障害福祉サービス事業者	4		医療機関		教育関係機関	
	民間企業			高齢者介護の関係機関		当事者・当事者団体	
	当事者の家族			権利擁護関係団体・者		大学等	
	公共職業安定所			保健所・保健センター		保育所	
	児童相談所			身体障害者相談員		知的障害者相談員	
	民生・児童委員			地域住民代表		区福祉保健センター	
	基幹相談支援センター			生活支援センター		地域ケアプラザ	
	社会福祉協議会	1		その他		合計	5
年間目標	・ほっとらんどの活動を周知し、当事者と地域との交流の機会を持つ。 ・安定した活動ができるように事業所間で連携を図り、可能な限りで開店日を増やしていく。						
月	活動内容						会議開催日時
4月							
5月	ほっとらんど事務局会議（開店報告）						5月13日
6月	ほっとらんど実行委員会						6月3日
7月	ほっとらんど事務局会議（開店報告）						7月1日
8月							
9月	ほっとらんど事務局会議（開店報告）						9月2日
10月							
11月	ほっとらんど事務局会議（開店報告） 11/15, 11/16 西谷地区センター文化祭出店						11月4日
12月	ほっとらんど事務局会議（開店報告）						12月2日
1月	ほっとらんど事務局会議（開店報告）						1月13日
2月	ほっとらんど事務局会議（開店報告）						2月3日
3月	ほっとらんど事務局会議（開店報告）、会計監査						3月3日
連携・協働による課題解決の仕組み	部会でできたこと・やったこと ・実行委員会の開催。参加事業所のメンバー、ボランティア、職員、地区センターの職員で意見交換ができた。 ・160日開店。（昨年度157日→今年度160日） ・区社協より出張販売の依頼があり、対応することができた。 ・拠出金を昨年度よりも増やすことができた。						
	運営上の課題 ・コーヒーマシンの故障のため支出があった。安定した運営を行うために拠出金を増やしていく。						
シェアしたい取組				市域で共有・検討したい課題			

部会名：		ほっとらんど			
部会長（氏名・所属先）：		カ石純子・トラック		副部会長（氏名・所属先）：	
その他事務局員（氏名・所属）：ほどがや希望の家、夢21西谷、ワークショップ夢21、社会福祉協議会					
問合せ先	氏名：	カ石純子		電話：	045-332-2939
	所属先：	トラック		メール：	npo_truck_2001@yahoo.co.jp
構成機関	相談支援従事者		就労支援センター		発達障害者支援センター
	障害福祉サービス事業者	4	医療機関		教育関係機関
	民間企業		高齢者介護の関係機関		当事者・当事者団体
	当事者の家族		権利擁護関係団体・者		大学等
	公共職業安定所		保健所・保健センター		保育所
	児童相談所		身体障害者相談員		知的障害者相談員
	民生・児童委員		地域住民代表		区福祉保健センター
	基幹相談支援センター		生活支援センター		地域ケアプラザ
	社会福祉協議会	1	その他		合計
					5
実施概要	・作業所とは違う環境の中で、経験の場を提供する ・社会参加、地域活動の一環となる ・作業所間の連携及び他機関との連携、ネットワークを広げる				
年間目標	・ほっとらんどの活動を周知し、当事者と地域との交流の機会を持つ。 ・安定した活動ができるように事業所間で連携を図り、可能な限りで開店日を増やしていく。 ・ロスを減らしてコスト削減に取り組む。				
月	活動内容				会議開催日時
4月	ほっとらんど事務局会議（開店報告） 場所：西谷地区センター 時間：13：30～				4月7日
5月	ほっとらんど事務局会議（開店報告） 場所：夢21西谷 時間：16：30～				5月12日
6月	ほっとらんど実行委員会の開催 場所：西谷地区センター 時間：13：30～				6月2日
7月	ほっとらんど事務局会議（開店報告） 場所：西谷地区センター 時間：13：30～				7月7日
8月	ほっとらんど事務局会議（開店報告） 場所：夢21西谷 時間：16：30～				8月4日
9月	ほっとらんど事務局会議（開店報告） 場所：夢21西谷 時間：16：30～				9月1日
10月	ほっとらんど事務局会議（開店報告） 場所：西谷地区センター 時間：13：30～				10月6日
11月	ほっとらんど事務局会議（開店報告）事務局会議：11月10日16:30～ 夢21西谷 イベント活動：西谷地区センター文化祭に参加				11月10日
12月	ほっとらんど事務局会議（開店報告） 場所：夢21西谷 時間：16：30～				12月1日
1月	ほっとらんど事務局会議（開店報告） 場所：西谷地区センター 時間：13：30～				1月12日
2月	ほっとらんど事務局会議（開店報告） 場所：夢21西谷 時間：16：30～				2月2日
3月	ほっとらんど事務局会議（開店報告）、会計監査 場所：夢21西谷 時間：16：30～				3月2日
必要予定の予算とその内容					
その他自由記載（部会活動を通して、区の障害福祉についてや区自立支援協議会について、より「こうなったらいいな」「これができたらいいな」などと共有できた課題についてもご記入をお願いします。）					

部会名：地域支えあい研修						
部会長（氏名・所属先） 佐藤氏・ほどがや希望の家			副部会長（氏名・所属先）： 土屋氏・ダンボの会			
構成機関	相談支援従事者	2	就労支援センター	2	発達障害者支援センター	
	障害福祉サービス事業者	21	医療機関	5	教育関係機関	1
	民間企業		高齢者介護の関係機関		当事者・当事者団体	1
	当事者の家族	1	権利擁護関係団体・者		大学等	
	公共職業安定所		保健所・保健センター		保育所	
	児童相談所		身体障害者相談員		知的障害者相談員	
	民生・児童委員		地域住民代表		区福祉保健センター	2
	基幹相談支援センター	1	生活支援センター	1	地域ケアプラザ	8
	社会福祉協議会	1	その他		合計	46
年間目標	年2回の研修を開催し、人材育成を図るとともに、法人や事業所の垣根を超えた職員同士の顔の見える関係性を構築することでも、人材定着を図る。					
月	活動内容					会議開催日時
4月						
5月						
6月						
7月	地域支えあい研修 テーマ：地域防災（場所：保土ヶ谷公会堂1号会議室）					16日（水） 18:00～20:00
8月						
9月						
10月						
11月						
12月						
1月	地域支えあい研修 テーマ：地域資源としてのケアプラザの機能と役割 （場所：保土ヶ谷公会堂1号会議室）					21日（水） 18:00～20:00
2月						
3月						
連携・協働による課題解決の仕組み	部会でできたこと・やったこと ・アンケートに基づく研修テーマの実施。7月開催の際40名以上、1月開催の際60名以上の参加があり、盛況である。 ・7月の研修にて、被災地支援センター保土ヶ谷の周知を行った。 ・1月の研修にて、区内の地域ケアプラザと連携し、障害福祉と介護の橋渡しを行った。 ・拠点整備計画の役割を意識した企画運営。					
	運営上の課題 ・担い手不足。特にボランティアグループの担い手は顕著。					
シェアしたい取組			市域で共有・検討したい課題			
・研修会（区作連・ボランティアグループ・自立協協同）では、新人からベテランまで様々な立場の人材が参加しやすいよう研修内容を工夫して企画しています。また、必要に応じて情報発信・情報共有の場となるよう努めています。 ・事業所間だけでなく、地域ケアプラザなど、多職種と連携した関係づくりを目指し、区域における「顔の見える関係づくり」継続の核を担っています。			・「防災」や「人材不足（人材定着のハードルの高さ）」など、事業所や地域をまたいで課題となっているテーマについて、市域で課題やアイデアを共有できる場があると良いです。 ・事業所内のみでのOJTの限界、閉塞性を打破するため、区や市全体でより良い支援へとつながるOJTが行えるよう、制度作りをしていきたいです。			

部会名：		地域支えあい研修			
部会長（氏名・所属先）：		大野・（夢21西谷）		副部会長（氏名・所属先）：石川・（さかもとてらす）	
相談支援室ボランティアグループしゃべる～む（長島、岩山・夢21福祉会、山下・ゆめのね、安東・偕恵 その他事務局員（氏名・所属）：シグナル、金崎・ほどがや希望の家）、保土ケ谷区作業所等連絡会研修部（大野・石川・大武・森田・夢21福祉会、渡邊・ダンボの会、津森・ほどがや希望の家）、保土ケ谷区基幹（遠藤・矢板）					
問合せ先	氏名：	大野		電話：	045-371-4233
	所属先：	夢21西谷		メール：	nishiya@yume21.net
構成機関	相談支援従事者	2	就労支援センター	2	発達障害者支援センター
	障害福祉サービス事業者	21	医療機関	5	教育関係機関
	民間企業		高齢者介護の関係機関		当事者・当事者団体
	当事者の家族	1	権利擁護関係団体・者		大学等
	公共職業安定所		保健所・保健センター		保育所
	児童相談所		身体障害者相談員		知的障害者相談員
	民生・児童委員		地域住民代表		区福祉保健センター
	基幹相談支援センター	1	生活支援センター	1	地域ケアプラザ
	社会福祉協議会	1	その他		合計
46					
実施概要	保土ケ谷区作業所等連絡会、ボランティアグループしゃべる～む、保土ケ谷区自立支援協議会との協同事業として、保土ケ谷区のネットワークを活用し、区域における人材育成を目的とした研修を年2回実施する。				
年間目標	・年2回の研修開催を軸に人材育成を図ると同時に、法人や事業所の枠を超えた職員同士の交流の場を創出する。 ・現場の悩みを気軽に相談できる「顔の見える関係」を地域に広げること、職員一人ひとりの支えとなり、人材の定着へと繋げる。				
月	活動内容				会議開催日時
4月					
5月					
6月					
7月	地域支え合い研修 まちで暮らすネットワーク コラボ研修 テーマ：地域で支える集中的支援（仮） 場所：保土ケ谷公会堂1号会議室				15日（水） 18:00～20:00
8月					
9月					
10月					
11月					
12月					
1月	地域支え合い研修 テーマ：未定 場所：保土ケ谷公会堂1号会議室				20日（水） 18:00～20:00
2月					
3月					
必要予算の予算とその内容					
研修講師謝礼金 ￥30,000×2回分＝60,000円					
その他自由記載（部会活動を通して、区の障害福祉についてや区自立支援協議会について、より「こうなったらいいな」「これができたらいいな」などと共有できた課題についてもご記入をお願いします。） 各事業所の職員が、新人の頃から区外部の何らかの部会に所属し、自事業所外の職員とつながり・関係性が持てるようになると良い。そうした横のつながりを広げていくことが知見を広めることや人材の定着、ひいては全体の支援力の向上につながると考えています。					